

考える、語り合う No.22

一人一人が輝き、笑顔あふれる学校 まず考える、つぎに語り合う

令和3年12月2日
長崎市立川原小学校
学校だより
校長 寺田 成広

全校集会において



森教頭に、本校が加盟している「青少年赤十字」について話をしてもらいました。子どもたちには、これまでほとんどその加盟校であることや、青少年赤十字の目指すもの等について説明していませんでした。今回、来年が青少年赤十字が創設されて100周年となることで、記念事業として加盟校を示すプレートが送られたので、よい機会でした。教頭は、「命や健康、平和、友好につながる活動に取り組む学校であること」や、「先日行った児童会発案の海岸清掃が正にその取組の一つであったこと」、「12月は人権集会があるように、周りの人を大切にする、仲良くすることにますます力を入れてほしいこと」等々を伝えました。



プレートは児童玄関に掲示するので、目にした子どもたちの意識付けにつながると思います。保護者の皆様も、来校の際にご覧ください。

全校集会では、久しぶりに全校児童で歌を歌いました。曲は、人権集会で歌う「音楽のおくりもの」でした。すてきな歌詞が、子どもたちの歌声によっていっそう心に響き、正に‘音楽のおくりもの’でした。ご家庭でお子さんにリクエストしてはいかがでしょうか。



Chromebook の授業での活用について

先週低学年の授業参観、懇談会を実施し、今週は高学年です。参観していただく授業では、Chromebook を子どもたちがどのように学習活動で活用しているかを見ていただきます。参観が終わった低学年の保護者様の中には、「予想以上に子どもたちがスムーズに使いこなしている」と思われた方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

最近よく耳にする「デジタルネイティブ」は、子どもたちの姿を見ていると、確かにそうだ、端末を使い始めるときの垣根が低いと思います。使い方のルールや情報モラルは当然しっかりと指導しますが、端末の活用については、「難しくてできないだろう。」と指導者が制限をかけるより、「させてみよう。」がうまく進んでいくように感じています。

外部の方々との関わりの中で学ぶ

本日、二つの学年の総合的な学習の時間で、外部の方々との学習活動を実施しました。4年生は、長崎大学の海の環境保全サークル「ながさき海援隊」の皆さんと、5年生は「あそびの杜こども園」年長児クラスとの交流でした。私は4年生の学習を参観しました。海岸漂着ごみの回収活動をとおして、子どもたちのとても前向きな姿勢に感心し、先輩である大学生が地道に、科学的に環境活動に取り組んでいることへの敬意と憧れを抱いている様子を垣間見ることができました。どちらも、ぜひご家庭で話題にしてほしいと思います。



HP の URL (4年生の学習:<https://onl.tw/BgPTkmk>)

(5年生の学習:<https://onl.tw/Gkdfu4w>)